

平成29年 7月27日
 岐阜県立飛騨高山高等学校
 国土交通省高山国道事務所

飛騨高山高校の生徒が外来生物の防除を実施します ～高山西ICビオトープ“飛騨の森再生”～

1. 概要 : 高山西IC内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”において、飛騨高山高校の2, 3年生生徒計11人と環境学習を行います。
 学習の目的
 - ・ 自然環境調査に必要な基礎知識と技術の習得
 - ・ 飛騨の自然環境への理解を深める
 - ・ 道路建設における自然環境保全知識の習得
 2. 日時 : 平成29年 8月2日(水) 10:00～12:00
 (予備日 8月4日(金) 10:00～12:00)
 3. 場所 : 中部縦貫自動車道高山清見道路 高山西インターチェンジ内
 ビオトープ“飛騨の森再生”(高山市清見町牧ヶ洞地内)
 4. 参加者 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 2, 3年生計11名
 国土交通省高山国道事務所 職員
 5. 添付資料 : 別紙1～3のとおり
 6. 配布先 : 高山記者クラブ
 7. 問合せ先 : 岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス
 環境科学科 浅野 宗則(あさの むねのり)
 TEL 0577-33-1060
 FAX 0577-32-8994
- 国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所
 計画課長 奥田 清典(おくだ きよのり)
 TEL 0577-36-3822
 FAX 0577-36-3801



高山西 I C ビオトープ “飛驒の森再生”

1. ビオトープ “飛驒の森再生” 整備

中部縦貫自動車道高山清見道路の建設により、動植物の生息・生育環境が分断され、従来の自然環境が大きく変化する可能性があります。そのため、インターチェンジ内を『飛驒の森再生』として位置付け、調整池の自然利用及び周辺植生の遷移促進を含めた計画をし、平成16年11月に高山清見道路（高山清見 I C～高山西 I C）の供用と同時にビオトープが完成しました。

さらに、平成22年7月には、飛驒高山高等学校と高山国道事務所で「維持管理に関する協定」を締結し動植物の生息・生育環境創生に取り組んでおります。



整備直後(H16. 11)



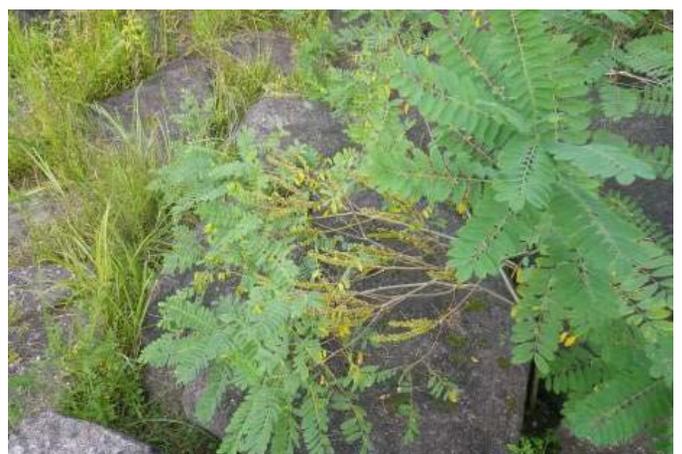
現在の生育状況(H29. 5)

2. 学習内容

今年度4回目となる今回は、環境科学科2年生および3年生計11名が参加して、ビオトープ内の在来種保護のため、「オオハンゴンソウ」（外来生物法で飼育・栽培・保管・運搬等が原則禁止となる特定外来生物に指定）を防除します。また、「イタチハギ」（外来生物法による規制はないが生態系被害防止外来種リストに掲載）の防除についても、今回併せて実施します。



ビオトープに侵入したオオハンゴンソウ



ビオトープに侵入したイタチハギ

①オオハンゴンソウの防除

北アメリカ原産のオオハンゴンソウは、種子による繁殖が旺盛で成長が早いうえ、伐採してもすぐに萌芽して再生することから、ビオトープ内の在来種と競合し駆逐する可能性があります。

防除作業は、種子の繁殖を防ぐため花が咲き始める7月～8月に実施し、根を残さないようスコップで掘り起こして抜き取り、また種子・根が飛散しないように手作業で行い、防除後は焼却処分をします。



根を残さないように注意して抜き取ります(昨年度の状況)



参加者と防除したオオハンゴンソウ

(昨年度の状況)

②イタチハギの防除

北アメリカ原産のイタチハギは、密生したヤブを形成し、伐採してもすぐ萌芽して再生します。ビオトープ内の在来種と競合し駆逐する可能性があることから、イタチハギを根から掘り出し処分します。

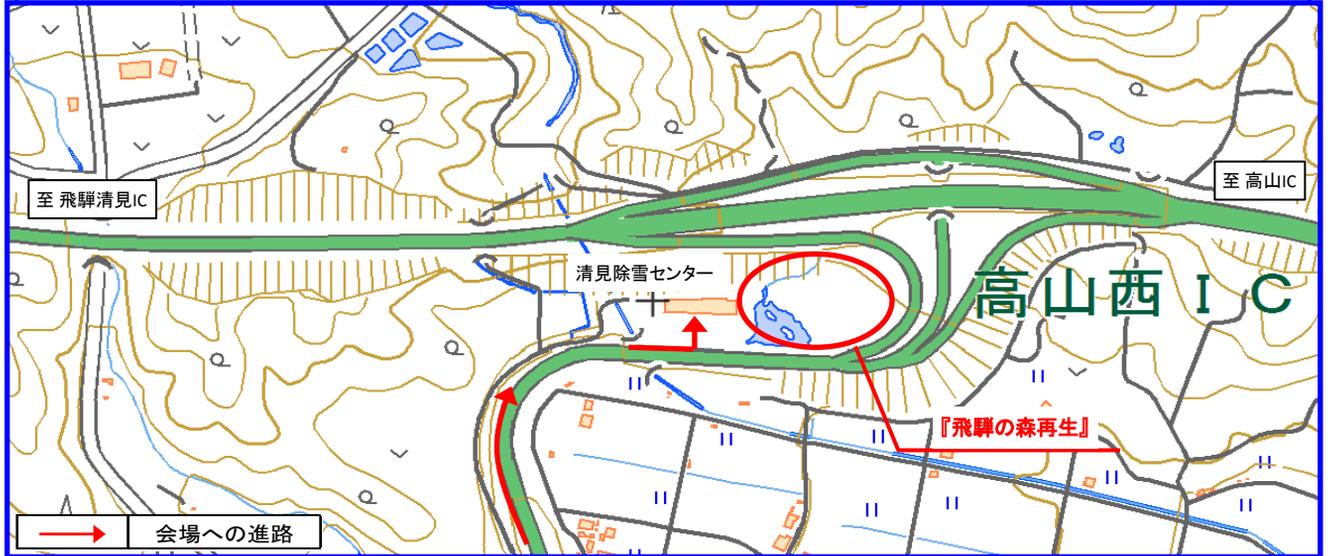
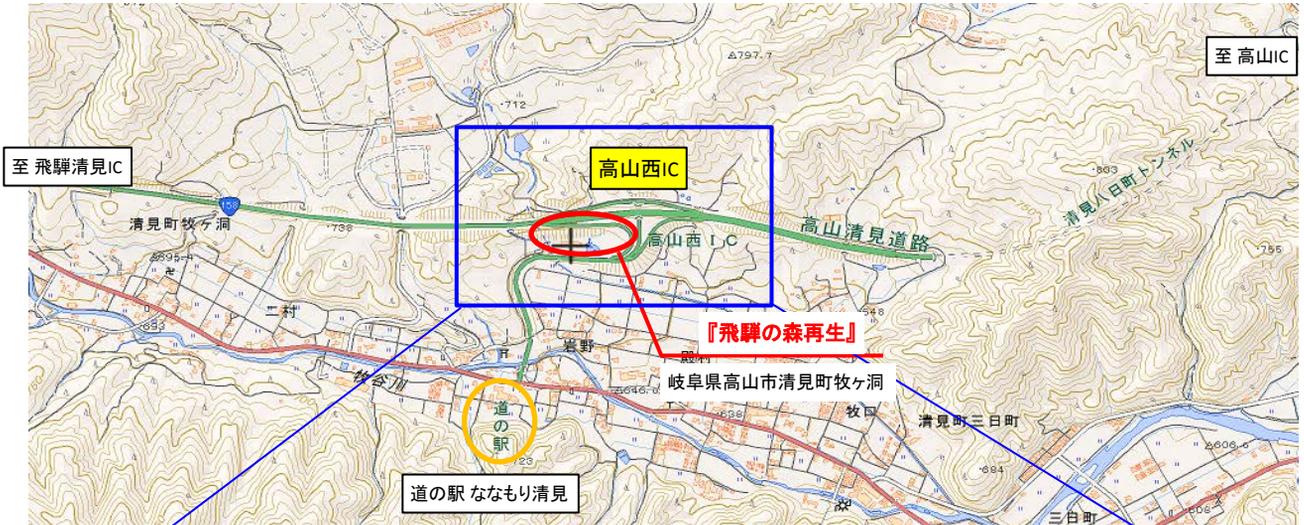
なお、同じく生態系被害防止外来種リストに掲載されている「ハリエンジュ」は、生徒による4年間（H24～27）の継続的な防除により、根絶することができました。



イタチハギの防除作業（昨年度の状況）

環境学習 実施位置図

実施場所：高山西IC内ビオトープ「飛驒の森再生」



取材希望がございましたら清見除雪センターにお集まり下さい。